

フルスタック講習 初級 ガイダンス

技術・教育戦略研究所 主任研究員 Teamボルシチ 田中 稔也
ボ 冒険心と
ル 累積された技術をもって
シ システナエンジニアを自発的に体現し
チ 挑戦！跳躍！超弩級！

フルスタック講習(初級)とは？

目的:

フルスタックエンジニアとして必要な技術の基礎を習得する

方法:

- ・講習の受講
- ・課題の実施と発表

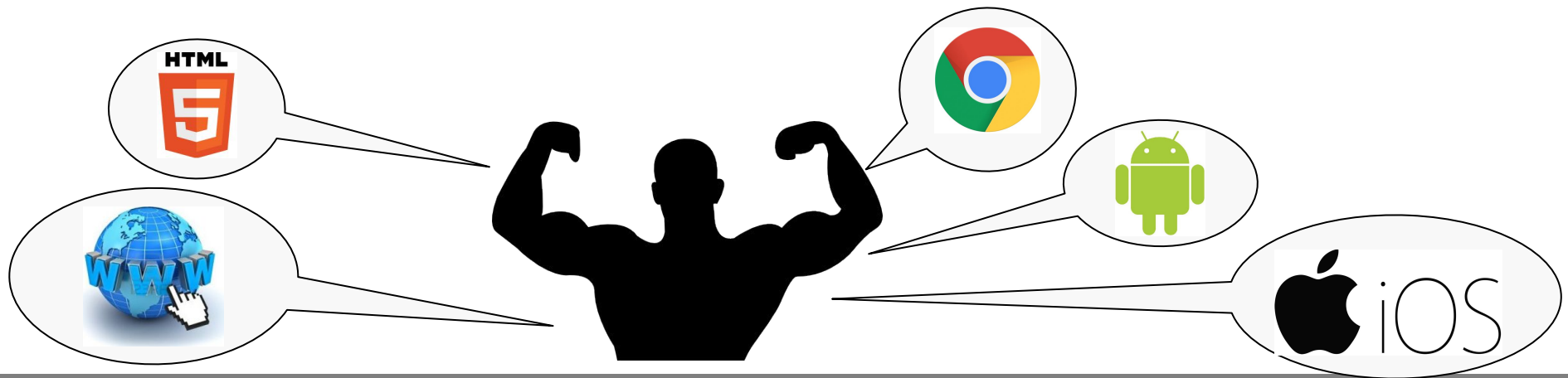
※課題については各講習内でお知らせします。

フルスタックエンジニアとは？

ソフトウェア開発技術を広く知り、一人でいくつもの開発ができるエンジニアを指します。

× : Androidアプリは開発できるがWebは分からない

○ : Androidアプリ、Webサーバの開発が両方1人でできる



トレーニングルームについて(1/3)

講習にあたり、受講者全員にWebのトレーニングルームが用意されています。

URL:

<https://sd-solen.systema.co.jp/training-room/login>

ログインに必要なメールアドレスとパスワードはシステムのアカウント情報を使用します。

トレーニングルームについて(2/3)

■Webページ

Webの講習で使用します。詳しくは講習内でお知らせします。

■Redmine

受講者1人1人にアカウントが作成されています。

ログインIDはシステムアカウント情報の@の左側になります。

課題提出や質問はここで行います。

■Git

受講者1人1人にアカウントが作成されています。

ログインIDはシステムアカウント情報となります。

Android/iOSの課題提出をします。

トレーニングルームについて(3/3)

Redmineでの必要な操作やGITのプロジェクトの作成方法などは以下に手順書があります。

■Redmineの操作手順書

<https://drive.google.com/file/d/1ofya6nunvjWfnwxagDNYgfpKCYF0FgVU/view?usp=sharing>

■トレーニングルーム_GITリポジトリ作成手順

<https://drive.google.com/file/d/1hXBCkMoplTt4XbK6Ycm5VsTTbvZQkneG/view?usp=sharing>

受講の仕方(1/13)

フルスタック講習(初級)はガイダンス・職業倫理と、最終日の発表以外は全てあらかじめ撮影済みの動画視聴による講習となります。

各動画は講習のChapter毎に撮影されており、Chapter毎に動画の内容を理解しているかどうかの課題があります。

(このChapter毎の課題を「Chapter課題」と呼びます)

受講者の皆様は、時間が取れる時間に動画を視聴しChapter課題を対応するRedmineのチケットに提出してください。

Chapter課題の合格をもって動画視聴とみなします。

受講の仕方(2/13)

Chapter課題が終わった後に、講習全体の課題もあります。
課題の内容は各講習内で周知されます。

合格判定は以下の基準で総合的に行います。

動画視聴：期限内に動画を視聴しChapter課題を達成しているか
最終課題：Web、及び、Clientの講習内容を理解し、
応用できているか

受講の仕方(3/13)

動画視聴と課題対応にはそれぞれ以下の期限があります。

2022/12/02(金)プログラムの基礎講習期限、職業倫理期限

2022/12/23(金)Web講習期限

2023/01/13(金)Android/iOS講習期限

2023/02/03(金)講習課題対応期限

上記の期限を過ぎた時点で不合格となります。

不合格後も継続して動画視聴はできますが、講師のサポートはなくなります。

※受講開始日に制限はありません。

Chapter課題の合格を待たずにどんどん進めてよいです。

受講の仕方(4/13)

動画と講習資料のURLは以下にまとまっています。
適宜ご参照ください。

https://docs.google.com/spreadsheets/d/13lz4CHIPa21OBN1OQWjiwRvQ5tQXUmIXgg_-m-KO4zI/edit?usp=sharing

講習資料はGoogleドライブで直接閲覧してもよいですが、
人数が多いので、うまく表示されない場合はダウンロードして
閲覧してください。

受講の仕方(5/13)

Redmineの使い方について(1/5)

手順書が以下にあります。

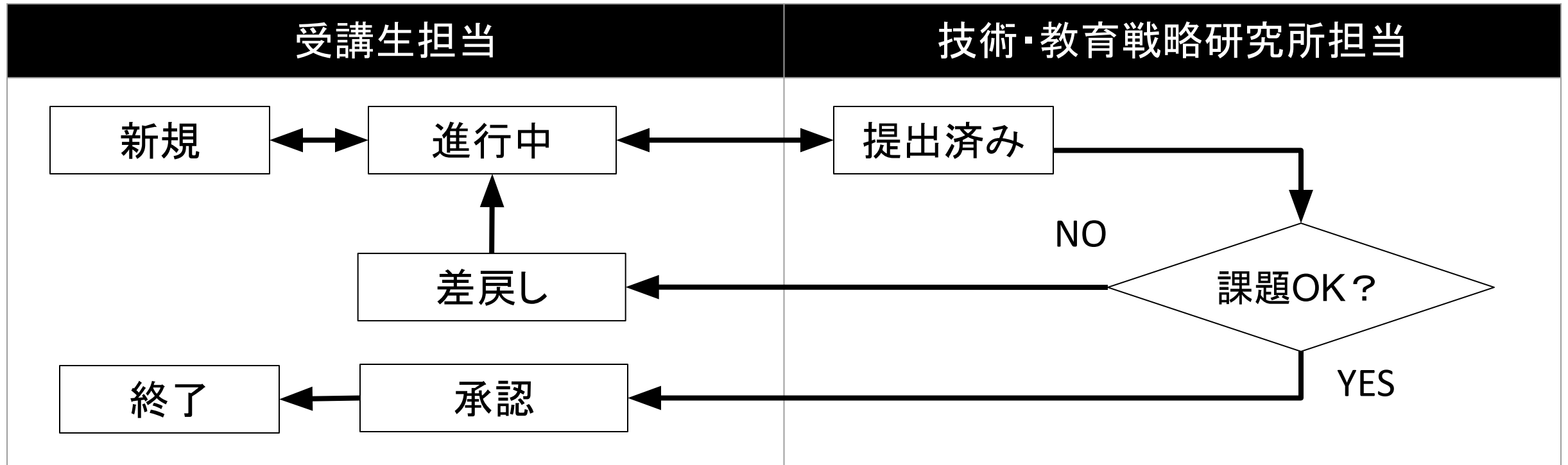
https://drive.google.com/file/d/1ofya6nunvjWfnwxagDNYgfpKCYF0FgVU/view?usp=share_link

チケットのインポート手順やステータスの遷移について記載されています。

受講の仕方(6/13)

Redmineの使い方について(2/5)

ステータスの遷移についてを抜粋します。



受講の仕方(7/13)

Redmineの使い方について(3/5)

一番最初の担当者について

【プログラムの基礎】Chapter01: ガイダンスの課題は
CSVインポートになります。

CSVをインポートしたらステータスを提出済み、
担当者を田中にしてください。

適宜、担当となる講師をアサインしていきます。

以降は、担当となる講師を担当者に設定してください。

受講の仕方(8/13)

Redmineの使い方について(4/5)

トラッカーについて

講習に使用するトラッカーは以下の2つです。

- ・講習実施
- ・質問

Chapter課題を行うには講習実施のトラッカーのみ使用します。

Chapter課題固有の質問も講習実施で対応できます。

事務的な内容やChapterを特定できない質問は質問トラッカーを使ってください。

上記以外のトラッカーの使用、および、トラッカーの変更は禁止します。

受講の仕方(9/13)

Redmineの使い方について(5/5)

最終課題の担当者について

各担当講師を設定してください。

受講の仕方(10/13)

Chapter課題の期限について

Chapter課題には期限があります。

期限日の19時までが状態を提出済みにする期限となります。

期限内に提出済みになったチケットについては採点を行います。

受講の仕方(11/13)

講師について知ってほしいこと

講師も日中時間帯は通常業務をしています。
なので期限ぎりぎりでの質問や課題の提出には対応できなくなります。
計画的に余裕をもっての対応をして下さい。

受講の仕方(12/13)

スケジュールについて

第1回の時に提出がぎりぎりになり差し戻しが発生して不合格となるパターンが多かったです。

講習のボリュームが大きいので計画的に対応をしていかないと期限間際の対応となり、不合格となる可能性が高くなります。

差し戻されても対応できる余裕のある計画を立てて、対応して下さい。

受講の仕方(13/13)

講習の目的について

第1回で残念ながら不正行為が検出されました。
講習の目的は不正をしてでも合格することではなく、
受講生全員が技術を学び、受講生全員フルスタックエンジニアになる
ことです。
そのため、受講生同士の課題の共有を禁止します。
質問は講師にしてください。

稼働と報奨金

フルスタック講習は非稼働になります。
PJコードの採番はしませんし、Canbusの登録は不要です。

自己啓発を行い、見事合格した場合は報奨金が出ます。
初級は5,000円となります。
報奨金の申請は技術・教育戦略研究所側で一括で行うため、
合格者個人での申請は不要となります。

課題の評価と発表について

講習には課題が出されますが、課題をこなしただけでは合格になりません。課題に対してプラスとなる工夫や機能の実装も必要となります。

そして最終日は課題の発表となります。受講生が多いので全員発表はしません。

合格者から発表者を募って発表をして頂きます。

状況により講師から指名をさせて頂く可能性もあります。

特進クラスについて

本講習で特に優秀な成績であった受講生や、積極的に技術を吸収しようとする姿勢が見られた受講生には特進クラスを用意しています。対象者は課題提出後、講師より特進クラス受講のお知らせをしますので、状況に応じて回答をしてください。

期間は2023年2月24日～2022年3月17日を予定しています。

ガイダンスと職業倫理の録画

ガイダンスと職業倫理についてはMeetの機能を使用して録画をしています。

ガイダンスと職業倫理の講習カレンダーへ録画ファイルが添付されますのでお役立てください。

特に欠席をした場合、必ず録画の視聴をするようにして下さい。

フルスタック講習 職業倫理

技術・教育戦略研究所 主任研究員 Teamボルシチ 田中 稔也

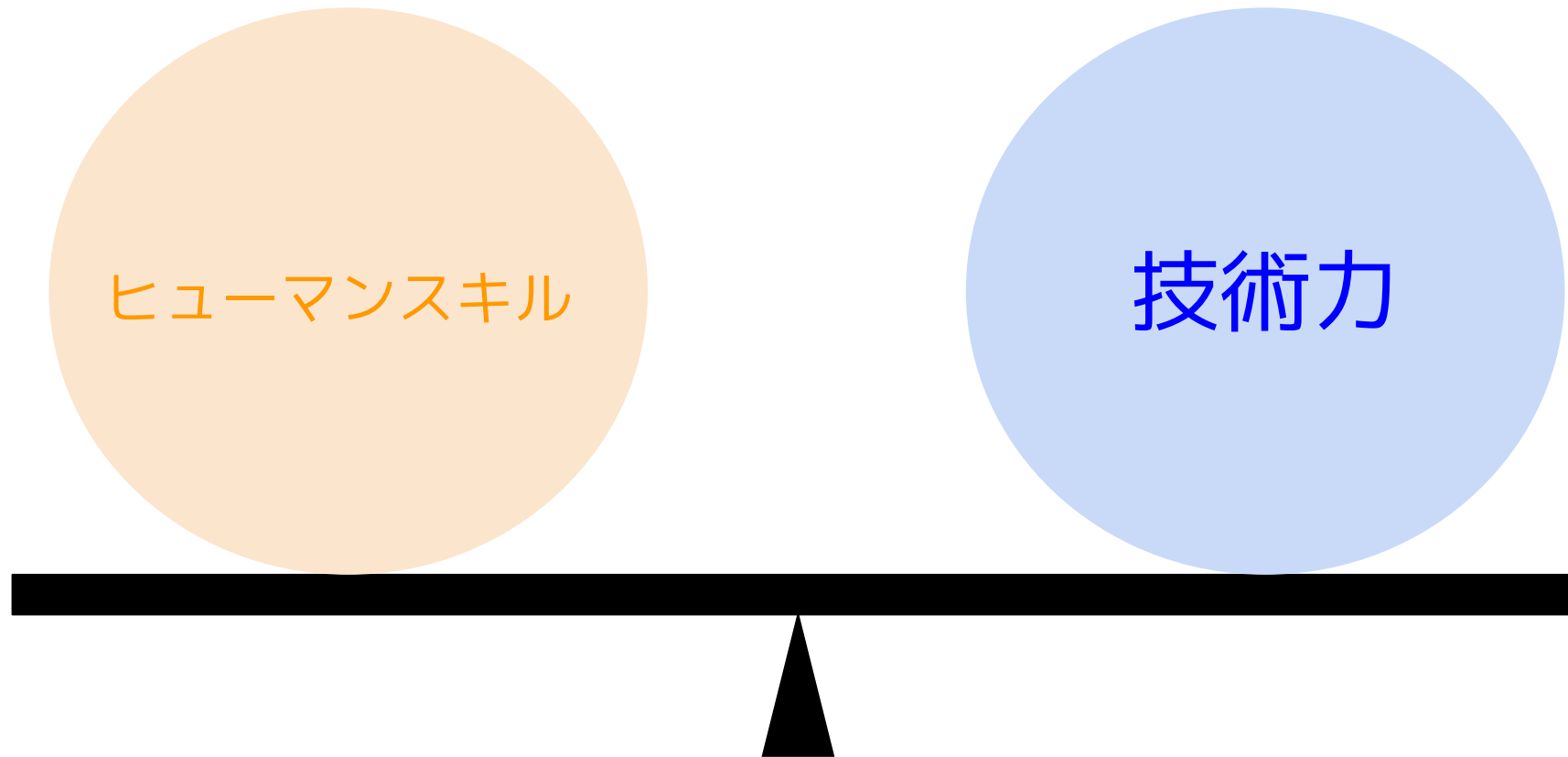
ボ 冒険心と

ル 累積された技術をもって

シ システナエンジニアを自発的に体現し

チ 挑戦！跳躍！超弩級！

良いエンジニアとは？



ヒューマンスキルと技術力をバランスよく習得する必要があります

ヒューマンスキル

ヒューマンスキルにはどのような要素があるのでしょうか。

- ・ コミュニケーション

→一人で完結する仕事はない。

必ずチームやお客様とのコミュニケーションが根底にある。

- ・ 報告・連絡・相談

→仕事を進めるうえで必要なアクション。

報連相の質はチーム全体の生産性に大きく寄与する。

- ・ 礼儀礼節

→返事や挨拶ができていない人に仕事を任せられるか？

信頼関係の根底にあるもの。

選ばれるエンジニア(1/7)

お客様に選ばれるエンジニアになりましょう

■選ばれないエンジニア

依頼された仕事を遂行するだけ
→ 当たり前。どこに依頼しても同じ。
いくらでも変わりがいて、次は他に依頼されるかも
．．．

■選ばれるエンジニア

サービスの完成まで一緒に取り組んでくれる
→ 良い方法、手段、進め方などを積極的に提案する人。

選ばれるエンジニア(2/7)

お客様の業務や携わっている

システム、業界に興味を持っていますか？

- ・ 興味を持ち、それを知ることができていないとお客様の抱える潜在的な要求ややりたいことを十分に理解することはできません。

逆にシステムや業界への理解を深め、お客様の抱える課題や達成したいことを十分に理解し、そのために動くことができるエンジニアはとても重宝されます。

選ばれるエンジニア(3/7)

お客様の潜在的な要求や抱える課題はプロジェクトの作業範囲とは限らない

- ・ サービス開始に向けて、サーバ、ストレージ、ネットワーク等、各種ITインフラの導入しない
- ・ PCが古くなったから入れ替えない
- ・ サービス開始後の運用も考えない
- ・ AWSを導入したいんだけど
- ・ アプリのセキュリティ担保をどうしよう
- ・ 情報連携をスムーズにしたい
- ・ 社内業務が煩雑
- ・ 色々なデータがあるけど活用しきれてない

選ばれるエンジニア(4/7)

プロジェクトの作業範囲だけでなく、まだまだお客様の
お役に立てるかも

お客様のことを知り、お困りごとをくみ取り提案するた
めにも、システナがどんな会社で、システナが展開する
サービスについてお客様と話し、システナについて知っ
てもらう必要があります。

「そんなサービスを提供していたんですね、XXXについ
て相談したいのですが・・・」そう言って頂けるように
なる必要があります。そのためには自社のことについて
知る必要があります。

選ばれるエンジニア(5/7)

自分が所属しているシステムのことは知っていますか？


- 会長、社長の名前 [\(リンク\)](#)
- 社員数 [\(リンク\)](#)
- 部門 [\(リンク\)](#)
- 拠点 [\(リンク\)](#)
- 関連会社 [\(リンク\)](#)
- 所属部門のメインクライアント
- 所属部門の得意とする技術・分野

選ばれるエンジニア(6/7)

お仕事を作るためには？

システムの**強み**やこれまでやってきた**実績**をお客様にアピールして
システムに任せたい！！
と思わせる必要があります。

そのためには・・・



お客様と一番近い立場のみなさんからアピールする必要があります。
普段の業務で**チームや自身のアウトプットで信頼**を得て
お客様のお困りごとをシステムならこう解決します！！
というような**提案**ができるようになりましょう。

選ばれるエンジニア(7/7)

お客様との日々の仕事に高い目的を見出しましょう

- ・ 日々の業務の目的は何でしょう？
言われたからやってるただの作業？
給料をもらうための手段？
いえ、お客様の支援を通してより品質の高いサービスを提供することです。
- ・ 嫌々行っている作業をしているだけでは決して成長しません。
目的をしっかりと持ち日々の業務を行い、かつ、会社のビジョンの意味を理解し、日々の研鑽が必須です。
- ・ 自分のためだけに働く人とお客様と一緒に働きたいと思いませんか？
目的やビジョンを理解し、一緒にサービス品質を高めていく人こそが選ばれます。

講習での約束ごと

技術だけでなく良いエンジニアとなるために以下のことも意識して取り組んでください。

- ・ コミュニケーション

→ 不明点や、わからないことは必ず質問して確認する。

- ・ 報告・連絡・相談

→ 講習への欠席や遅刻の連絡の徹底、課題の状況報告、わからないことは相談をする。

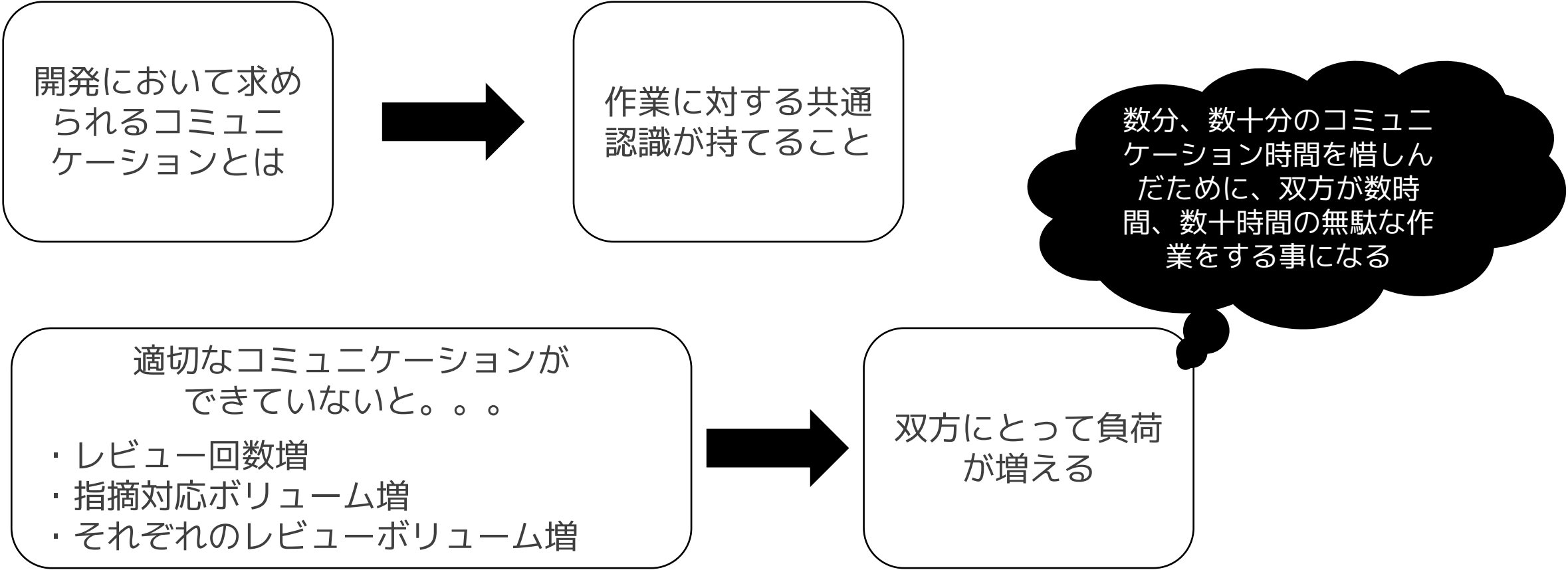
- ・ 礼儀礼節

→ 講習内で講師からの質問などに対して必ず反応をする。

無断欠席、無断遅刻、課題未提出がないようにする。

次のスライドでは良いエンジニアになるための
コミュニケーション、報連相のやり方についてお話しします。

コミュニケーション



報告・連絡・相談

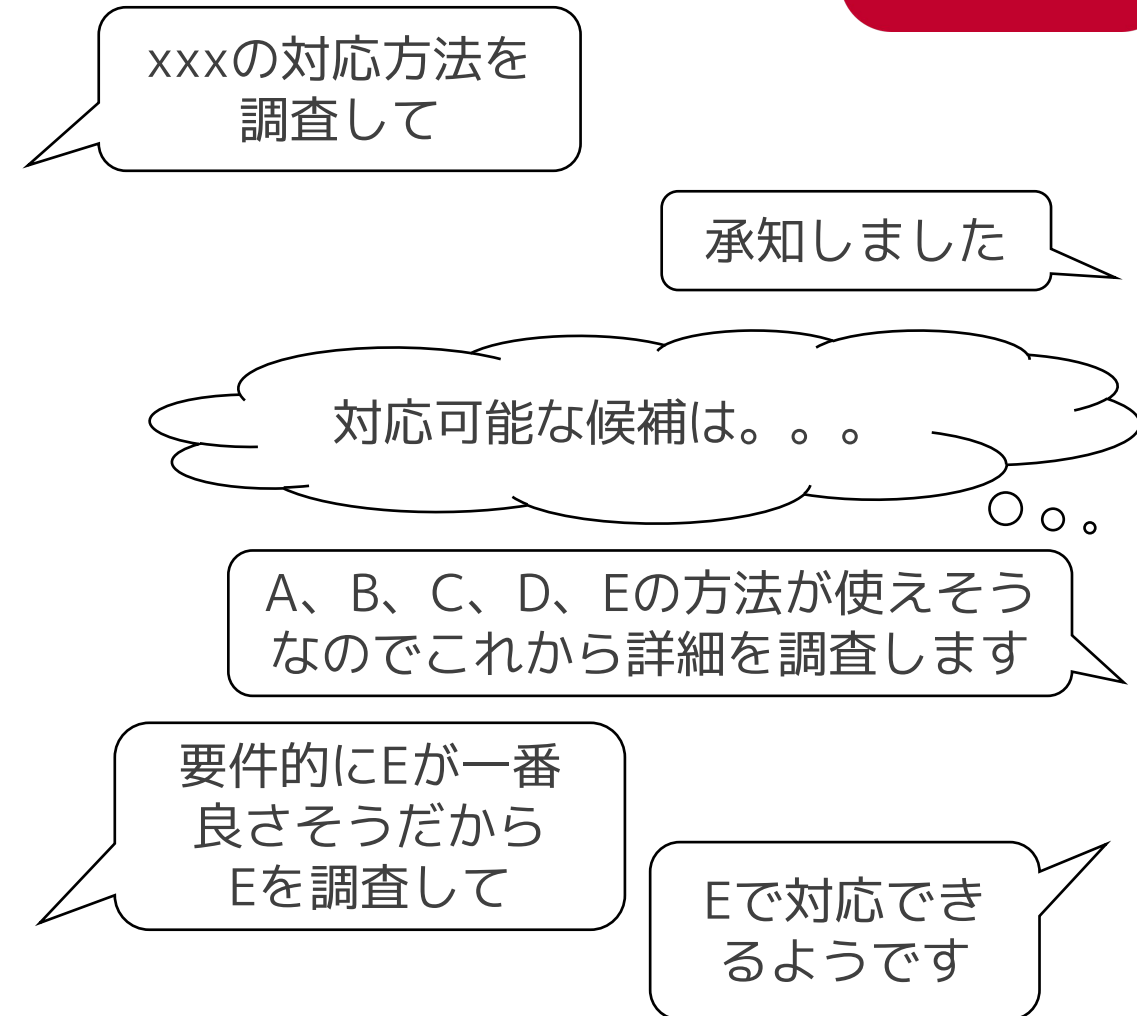
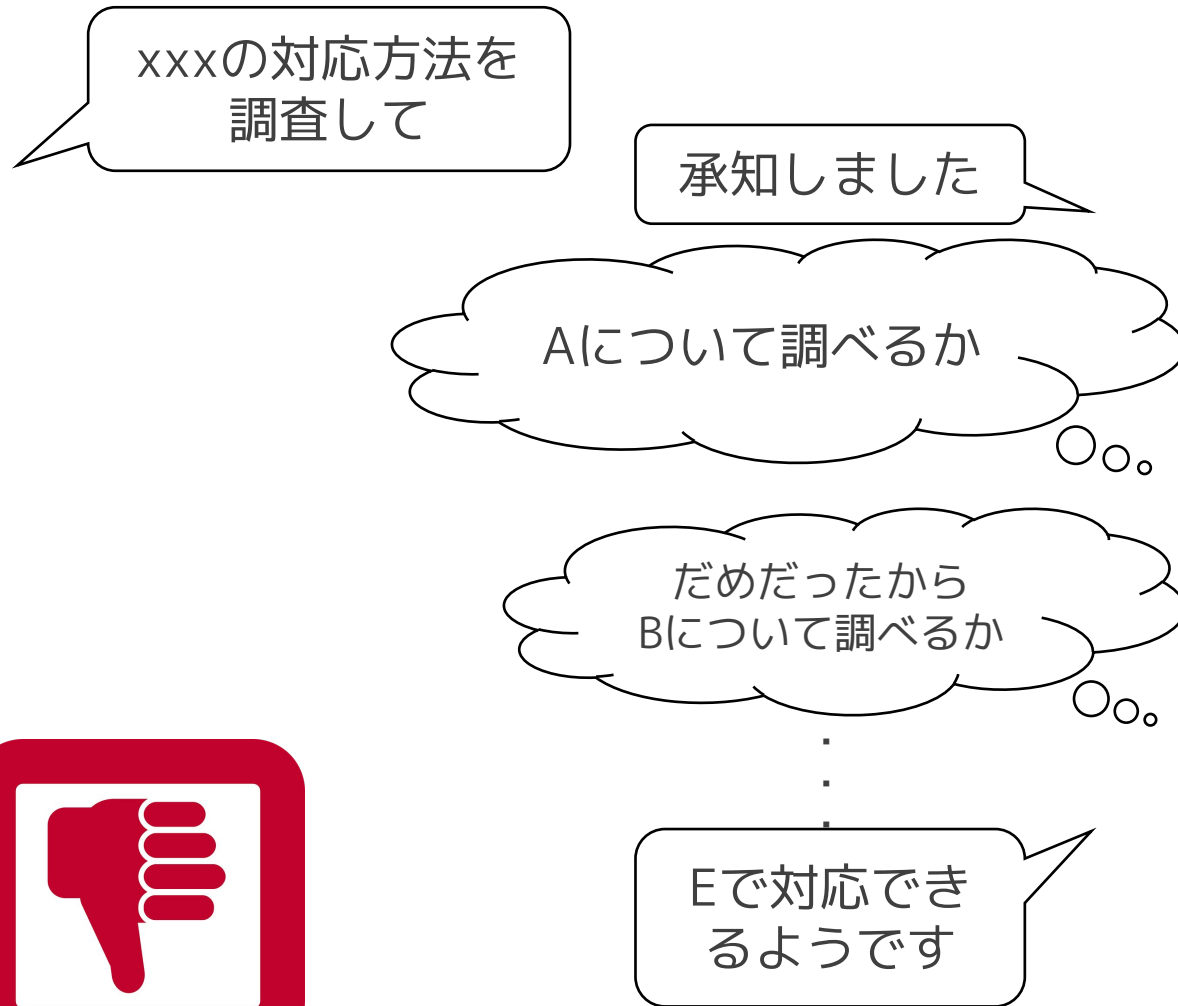
作業効率を上げるための当事者意識を持った適切な報連相

悩んだまま問題
を抱えない

指示待ちになら
ない

適切な状況報告

作業効率を上げる適切な状況報告



職業倫理の理解度テストについて

職業倫理は理解度テストを実施します。
以下のURLよりアンケート形式で実施してください。

<https://forms.gle/3B2LChkkx9T6sR319>

期限は2022年12月2日 18:00とします。
※Redmineでの報告は不要です。